

第5期麻生区区民会議 第14回企画部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成28年3月4日（金）午後3時00分～午後4時35分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[委員]
岡倉委員、金光委員、白井委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員、林委員
(欠席委員) 上野委員
[事務局]
井上課長、白石担当係長、榎本
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料
資料 1 各専門部会議事要旨
2 区民会議フォーラム結果報告書(案)
3 区民会議ニュース5号(案)
4 区民会議報告書関係資料

参考資料

- 1 第13回企画部会議事要旨

6 議 事

(1) 専門部会の検討経過報告

ア 若い世代が住みやすいまちづくり部会

【説明事項】

・白井部会長から、資料1-1により第15回部会の内容について報告。フォーラムのアンケート結果から、麻生区の魅力として感じる項目のうち、「子育てしやすい」が低い。これは、回答している世代が60歳以上と、子育てをすでに終えている高齢者なので、魅力として感じていないのではないかと報告。報告書の内容について、麻生区の魅力のうち、PRしたらよい魅力については、緑・治安の次に学校環境が良いことが挙げられる。また、新百合ヶ丘が麻生区であるということにマッチングさせていかなければいけない。調査・審議の結果から、住みやすいことが判ったのだから、若い世代が住みやすいまちあさおの実現ではなく、周知するという言葉に変えていく必要がある。魅力の中身については、緑・自然であれば、里山フォーラムが活動している、子育てではこういう団体が活動しているといった情報を書き込むとより分かりやすくなる。麻生区の魅力を集めた結果や冊子などを麻生区のHPに掲載していくとよい。また、フォーラムなどを開催するに当たり、どの団体やどの誰を呼ぶのかを検討する必要がある。意見交換会等を開く前に、団体に対してある

程度説明をして同意してもらわないと集まらない。空き家をシェアハウスとして活用していくのであれば、地域の理解を得る必要があり、ルールを作り、守ってもらう必要がある。次回の部会までの間に勉強会を開催し、その内容を踏まえ、3月の部会で提言の内容等の確認を行う予定。

(主な意見)

- ・3月11日の開催されるのは勉強会のことか。
- 議論する場が足りないので、臨時で部会を開催するような形。
- ・モデル事業とあるが、どのようなイメージか。
- まだ、部会員から集めた提案を整理している段階。魅力を発信している団体のノウハウを持った人に話してもらう等考えられるが、まずは、団体に理解してもらわなくてはならない。フォーラムは、時間的にも厳しいので、報告会のようなイメージになるかもしれない。
- ・今回のテーマを第6期へ引き継ぐことはできるか。
- 今回のテーマが第6期の背景となることはあると思うが、押し付けることはできない。第6期へ引き続きお願いしたいと残すことはできるが、それを提言として残すことはできない。
- ・川崎駅に大きなビジョンがあるが、そこで麻生区の魅力をPRするだけでも、魅力のPRになるのではないか。
- ・埼玉県各市町村でも、電車の中刷り広告で住みやすいまちのPRをしている事例もある。
- ・PRの要素については考えられるが、形にするのはプロがよいのではないか。

イ 市民活動・地域活動の活性化部会

・岡倉部会長から、資料1-2により第15回部会の内容について報告。部会の開催がフォーラム前であったため、フォーラムの内容について、確認をした。提言に向けては、全体の提言の雛形の作り、項目出しをして、縦軸（効果的な情報発信・参加への一押し）と横軸（基礎的な仕組み・理想的な仕組み）に配置されたカードに基づき、審議を進めた。項目としては、「ボランティアの啓発カテゴリー」「体験講座のカテゴリー」「情報発信のカテゴリー」「相談窓口のカテゴリー」「提言の対象」「総合的なコーディネート機能のカテゴリー」に分け、検討を行った。提言の大枠の方向性としては、はじめに区民に目指すべき社会像を知らせる。次に、知らせることによってボランティアに関心を寄せた人の受け皿として、一步を踏み出すための理想的な仕組みであるボランティア情報センターを提示する。そして、センターに必要な機能として、今まで審議してきた「効果的な情報発信」や「参加への一押し」の各要素を取り入れて示していく予定。

(主な意見)

- ・ボランティアセンターを軸として、話を整理している。
- ・ボランティアセンターを周知していくのは難しいのではないか。すでにある「やまゆり」などを母体にしたほうが、浸透しやすいのではないか。また、ボランティアセンターの場所の設定も難しいのではないか。
- なかなかボランティアセンターがすべてを包括していくのは難しいので、ボランティアセンターの機能を作るということで審議している。まだ、具体的な所までは決まっていない。
- ・ボランティアといっても、社協のような施設型のボランティアもあれば、とりあえず仲間に入っ

で活動したいといったような場合など、様々あるので、これを整理していくような形がよいのでは。

- ・組織を作るのは簡単ではなく、組織を固めてしまうと、逆に離れていく人もいる。
- ・出雲市で似たような事例があったが、それは議員の提案で、ボランティアセンターが出来た。ただし、政令市である川崎だとまた状況が違うかもしれない。

(2) 区民会議フォーラムの報告について

- ・資料2について、事務局より説明。講演内容については、藤原先生に確認を取る必要があるので、事務局より確認を取る予定。フォーラムの内容は、区民会議報告書の第4章に入れていく形となる。アンケート結果で、講演について、大変参考になったとの意見が多く集まり、好評であった。また、この講演はシニア世代だけでなく、シニア世代になる前の若い世代に聞いてほしいとの意見が複数あった。なお、区民会議報告書に掲載する時は、コメントに下線を入れないこととする。

(3) 区民会議ニュース5号について

- ・事務局から、資料3により、区民会議ニュース5号案の内容について説明。
- ・内容については、区民会議フォーラムの結果報告となるが、講演内容を入れるのであれば、藤原先生の確認が必要となる。
- ・町会の4月回覧に間に合わせるため、発行準備は、3月23日（水）午後1時半からとし、岡倉委員、高倉委員、菅野委員、事務局で行う。
- ・校正等については、メールでやり取りをしていく。

(4) 区民会議報告書について

- ・事務局より、資料4-1、4-2について、説明。
- ・若い世代がすみやすいまちづくり部会については、4月の企画部会において、ある程度固まった報告書が出される予定。
- ・市民活動・地域活動の活性化部会については、4月に勉強会を開催し、5月頃に、固まった報告書が提出される予定。
- ・企画部会の部分については、次回以降に詳細を確認していく予定。なお、第1章の2「第1期～4期区民会議の審議の流れ」については、レイアウトを変更予定。
- ・表紙については、林委員が担当し、4月末までに提出する。
- ・第5章の3「第5期区民会議を振り返って」については、5月の全体会議で各委員から一言もらう機会があるため、全委員から意見はもらわず、企画部会で検討する。企画部会委員は、3月末までに原案を事務局へ提出し、その後、部会長と事務局で調整を行う。

7 その他

- ・4月の企画部会は、4月8日（金）午後3時～とする。
- ・5月の企画部会は、5月9日（月）午後3時～とする。
- ・5月の全体会議後に懇親会を開催予定。開催通知に懇親会の案内も同封する。

以上